

ラストスパート月間ですよ!

あかるいまち21

No.983号 2017年2月15日 組織部 TEL082-532-1264

	2月累計	4月～1月
組合員ふやし	38人	1,159人
出資金ふやし	372万円	1億1,019万円
純増	▲116万円	1,899万円

交通費助成廃止はストップへ! 請願署名提出!

広島中央保健生協(以下生協)も所属する高齢期運動連絡会の会議の中で広島市の来年度予算案に「高齢者公共交通機関利用助成」廃止が盛り込まれていることが明らかとなりました。高齢者に大きな影響を与える重要な問題だとして、生協でも社保・平和委員会を中心に廃止に反対することになりました。生協の理事長と社保・平和委員長の連名で広島市議会議員にアンケートを送り、あわせて懇談の申し入れを行なったところ、社保・平和委員会委員長の片岡理事と懇意にされている桑田恭子議員(佐伯区選出・市政改革ネットワーク)と懇談頂けることとなりました。

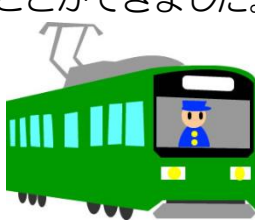
あらかじめ懇談の趣旨を説明していたところ、この助成制度の資料を集め理解を深めておられました。懇談は、片岡委員長が同席されていたこともあり、和やかに親身にかつ率直に進行しました。市会議員の議会内での活動をうかがい知る良い機会ともなりました。そして、生協側からは助成廃止に反対している事を説明し、議員側からは請願があれば市政改革ネットワークとして前向きに検討するというので1週間程度懇談させていただきました。



後日、高齢期運動連絡会を通じて請願がおこなわれ、検討の結果、桑田議員ご本人から直接生協に対し紹介議員になるということの連絡がありました。

今回の助成廃止は、ボランティアポイント制への移行とされていますが、横浜市では高齢者公共交通機関助成とボランティアポイント制の両方を制度として実施しており、ボランティアポイント制を導入しても助成を廃止する必要は無く、高齢者の活動を阻害するだけです。今現在、14万人もの市民に利用されています。

懇談を通じて、はたらきかけ次第では廃止にストップをかけることが可能性が大きいと実感することができました。



【助成制度で利用できる公共交通機関 廃止になったら…】

協同組合がよりよい社会を築きます



広島中央保健生活協同組合